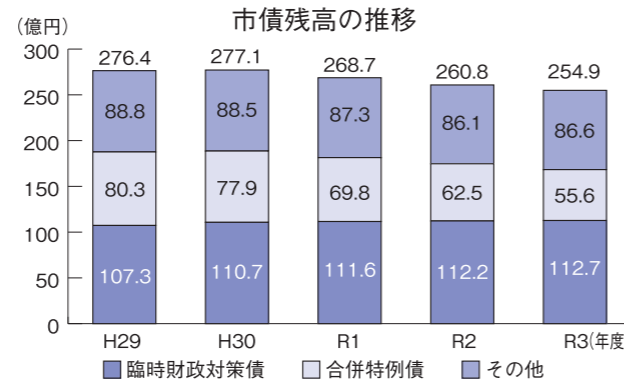
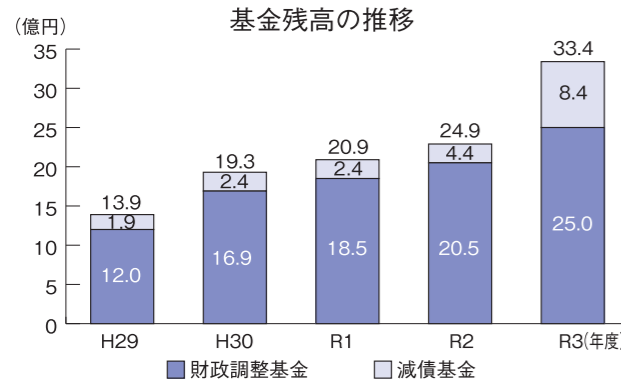




市の貯金と借金



解説

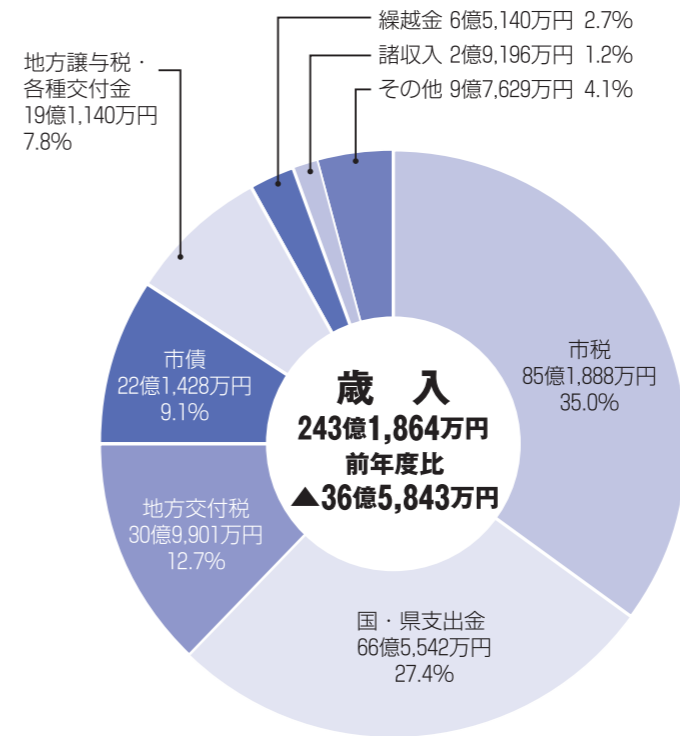
家庭の貯金にあたるものが基金です。令和3年度末の財政運営のための基金(財政調整基金・減債基金)の残高は33.4億円です。この基金は、経済情勢の変化による年間の収支の変動に対応し、安定的な財政運営のため必要になります。今後も適正な水準の確保に努めます。

解説

市債は、長期にわたり使う学校や道路などの建設のために、国や銀行などから借り入れを行う市の借金です。また市債は、現在の納税者と将来の納税者との間の負担の公平を図るという機能も併せ持っています。現在の市債残高を前年度(令和2年度)と比較すると5.9億円(▲2.3%)減少しています。

※臨時財政対策債…国からの地方交付税の一部の代替措置として発行するもので、返済金(元利償還金)のすべてが後年度に地方交付税として措置されます。

収支 9億2,256万円を令和4年度に繰り越し、そのうち5.1億円を貯金しました。



用語解説

市税…市民税や固定資産税など
 地方譲与税・各種交付金…自動車重量譲与税、地方消費税交付金など
 国・県支出金…国・県が必要と認めた事業に対するの交付金など
 地方交付税…市の財政状況に応じた国からの交付金
 市債…国や金融機関からの借入金
 諸収入…保育料、学校給食費負担金など
 人件費…職員の給与、議員や委員の報酬など
 扶助費…障がい者や高齢者福祉、生活保護など
 公債費…借入金の返済
 物件費…各種事業の運営にかかる事務経費など
 補助費等…団体運営や事業などに対する補助金や負担金など
 繰越金…特別会計に対する財政的支援としての支払金

1人あたりの市税負担額

1人あたりの市税負担額 **155,958円**

(円)

市民税	66,232
(内法人)	12,539
固定資産税	78,721
市たばこ税	7,442
軽自動車税	3,562
鉱産税	1

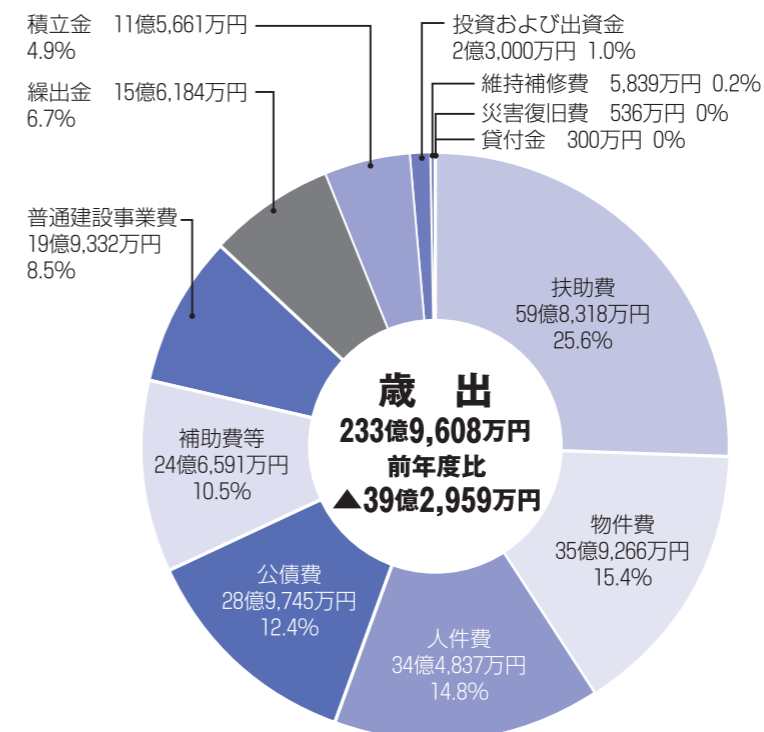
※市税85億1,888万円÷市民54,623人=155,958円
 (人口は令和4年1月1日現在)

1人あたりの支出額 **428,319円**

(円)

民生費	174,985
公債費	53,044
教育費	40,732
総務費	38,778
衛生費	35,627
土木費	33,517
諸支出金(基金積立金)	21,175
消防費	14,088
商工費	6,366
その他(議会費、農林水産業費など)	10,007
一般会計歳出総額	428,319

※一般会計歳出233億9,608万円÷市民54,623人=428,319円
 (人口は令和4年1月1日現在)



解説

令和3年度歳入歳出については、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民税の減収があったほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対して固定資産税の減免が行われたことにより、市税収入は減収となりました。歳出では、扶助費、公債費などが増加し、財政の硬直化が慢性化しています。今後も引き続き、人件費、物件費、補助費などの支出を抑える行政改革を進めつつ、必要な財源確保のための基金の取り崩しや、地方債の発行は最小限に抑え、着実なまちづくりを進めていきます。

令和3年度 一年間の成果

●石部駅周辺整備事業 4億7,107万円

石部駅において自由通路の整備、市道石原線の歩道整備を一部行い、石部駅の利便性向上に向けて整備を進めています。



●新型コロナウイルスワクチン住民接種事業 3億7,111万円

市内医療施設および市民学習交流センター(サンヒルズ甲西)において新型コロナウイルス感染症の予防接種を行い、感染拡大防止を図りました。

●子育て世帯臨時特別給付金給付事業 8億9,154万円

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として子育て世帯を支援するため、児童1人あたり10万円の給付金を支給しました。

●福祉医療助成事業 3億1,888万円

社会的、経済的に支援が必要な乳幼児や障がい者、高齢者などの医療保険の自己負担金を助成しました。

●保育園・認定こども園施設整備事業 4億8,261万円

老朽化の進んでいた阿星あかつき保育園と三雲くじら保育園の園舎の建て替えにより、安全で質の高い保育の提供が可能になりました。



阿星あかつき保育園



三雲くじら保育園

●農業振興等拠点施設管理運営事業 2,094万円

地産の農産物直売・食品加工・工芸品販売施設およびレストランなどの管理・運営を行い、市の産業力の強化や観光と交流による地域の活性化を図りました。



湖南省の財政指標

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし 早期健全化基準 12.86%	赤字なし 財政再生基準 20%	赤字なし
連結実質赤字比率 一般会計、特別会計、企業会計すべての会計の赤字の割合	赤字なし 早期健全化基準 17.86%	赤字なし 財政再生基準 30%	赤字なし
実質公債費比率(3か年平均) 年間の借金返済額の割合	8.3% 早期健全化基準 25%	8.5% 財政再生基準 35%	9.1%
将来負担比率 将来負担が見込まれる負債の割合	15.2%	22.3% 早期健全化基準 350%	31.6%
経常収支比率 市税など自由に使える収入のうち、扶助費や公債費など毎年必ずかかる経費にどれだけあてられているかを示す割合です。比率が低いほど自由に使えるお金が多くなります。	82.6%	88.2%	89.3%
財政力指数(3か年平均) 標準的な行政を行うためのお金を自らまかなえる割合です。1に近く、または超えるほど財布に余裕があるものとされています。	0.773	0.796	0.806

令和3年度決算額・令和4年度上半期各会計予算執行状況

		特別会計				
		一般会計	国民健康保険特別会計	国民健康保険診療所特別会計	後期高齢者医療特別会計	介護保険特別会計
令和3年度	歳入決算額	243億1,864万円	51億4,205万円	5億7,976万円	10億5,407万円	38億7,727万円
	歳出決算額	233億9,608万円	50億6,089万円	5億424万円	10億3,701万円	36億6,948万円
	差引額	9億2,256万円	8,116万円	7,552万円	1,706万円	2億779万円
令和4年度	予算額	231億5,954万円	51億2,677万円	5億6,617万円	10億9,371万円	39億9,186万円
	収入済額	104億9,516万円	23億118万円	2億6,842万円	7億1,880万円	18億4,777万円
	収入率	45.3%	44.9%	47.4%	65.7%	46.3%
	執行済額	100億4,380万円	21億778万円	1億8,983万円	5億2,757万円	15億4,525万円
	執行率	43.4%	41.1%	33.5%	48.2%	38.7%

		企業会計				
		水道事業会計		下水道事業会計		訪問看護ステーション事業特別会計
		収益的収支	資本的収支	収益的収支	資本的収支	
令和3年度	歳入決算額	15億374万円	2億2,027万円	18億1,092万円	10億3,504万円	5,270万円
	歳出決算額	13億8,757万円	4億3,700万円	16億6,377万円	17億67万円	4,780万円
	差引額	1億1,617万円	▲2億1,673万円	1億4,715万円	▲6億6,563万円	490万円
令和4年度	予算額	収入 15億4,834万円 支出 14億7,870万円	収入 4億398万円 支出 6億7,299万円	収入 17億4,372万円 支出 16億7,475万円	収入 12億3,014万円 支出 18億9,332万円	収入 5,547万円 支出 5,547万円
	収入済額	5億5,074万円	1,311万円	7億9,889万円	1億2,368万円	2,531万円
	収入率	35.6%	3.2%	45.8%	10.1%	45.6%
	執行済額	4億3,087万円	1億1,792万円	2億5,810万円	6億9,865万円	2,416万円
	執行率	29.1%	17.5%	15.4%	36.9%	43.6%